

2020年度 実践研究助成 「成果報告会」リモートで開催

パナソニック教育財団

副学長がコーディネーターとなり、武雄市立武内小、岐阜大学教育学部附属小、八王子市立高尾山学園、三条市立大島中らが続けて報告を行った。

（公財）パナソニック 方向上などの教育課題 定校部門がある。また、た。「豊かな創造性を持
教育財団（東京都港区）の改善に、ICTを効果 一般部門では教育委員 続可能な社会の創り手
小野元之理事長）は8 的に活用し、取り組む 会・教育センターとの を育む学校とは」をテ
月6日、今年度実践研 実践的研究を対象に行 共同研究なども行なわ ーマに、第44回特別研
究助成の「成果報告会」 なったもの。 れている。 究指定校4校の2年間
をリモート形式で開催 1年間の研究を対象 今回の報告会は、新 の実践報告が行われた。 財団 電話03・55
した。 とする一般部門と、2 型コロナウイルス感染 各校を担当するアド 21・6100 ホー

同財団による研究助 年間の継続研究に対し 拡大を考慮し、リモー バイザーの一人、新地 ムページは<http://www.paf.or.jp/>
成制度は、学力・人間 て助成する特別研究指 ト形式での開催となっ 辰朝氏（宮崎大学理事・